

日本大学学生用ウェブアプリケーションシステム利用規約

NU-AppsG

日本大学総合学術情報センター2008/04/01

日本大学ウェブアプリケーションシステム（NU-AppsG）は、本大学在学中、教育・研究を始め、大学からの連絡事項の受信、またサークルや友人同士のコミュニケーションに大いに利用していただき、学生生活をサポートしていくコミュニケーションツールです。

については、NU-AppsG を利用するに当たっては、学生（利用者）は、下記の事項に従って、正しく利用してください。

1 NU-AppsG サービスについて

NU-AppsG（以下、本システムという。）は日本大学に在学している学生（学部生・大学院生・短期大学部学生・専門学校生）を対象とした統一電子メールシステムです。日本大学から在学中、メールアドレスが貸与され、学内及び学外に対しコミュニケーションを図るための道具として認識してください。

① NU-AppsG サービスの利用について

本システムは、日本大学と Google 社のパートナーシップ契約において、Google Apps Education Edition を利用したシステムです。下記のサービスを提供いたします。

- (1) スタートページ - Gmail, カレンダー, ドキュメントを一覧で確認できるほか、気になるニュースや天気予報等のサイトを登録できます。
- (2) Gmail - 6.5 ギガバイトの容量と優れた検索機能により、メールを整理する必要がなくなります。ウイルス対策及び迷惑メールの排除機能など実装し、セキュリティ強化が考慮されています。また、ソフトウェアを追加しなくてもメールの画面からそのままインスタントメッセージを送れるので、手軽にコミュニケーションが図れます。
- (3) Google トーク - インスタントメッセージングソフトで、いつでもどこでもチャットや通話で連絡を取り合うことができます。
- (4) Google カレンダー - 個人のスケジュール管理はもちろん、サークル活動や学部行事等も同時に表示又は共有できます。
- (5) ドキュメント - ワードプロ作成、表計算機能、プレゼンテーション機能を持合せ、共同でドキュメント作成が可能です。

以上のサービスは Google Apps Education Edition の利用規約

(<http://www.google.com/a/help/intl/ja/users/terms.html>) に準じます。

② 広告の表示について

本システムは、Google 社の Google Apps Education Edition を利用する関係上、Web メールについて、メール本文の内容に沿った広告が表示される場合がありますが、広告に関しましては、日本大学は関与しておりません。

③ メールアドレスについて

メールアドレスは、各自の所属学部、学科等、学生番号等を考慮し自動的に付与されます。個々の希望に沿ったアカウントは生成できません。また、原則、在学中は不変です。大切に利用してください。

④ メールアドレス及びパスワードの管理について

メールアドレス及びパスワードは、学生（利用者）の責任において管理してください。メールアドレス及びパスワードを利用して行われた行為の責任は当該メールアドレスを保有している学生（利用者）の責任とみなします。万一、許可なく自分のメールアドレスが利用された場合、またはメールアドレス及びパスワードが第三者に漏えいしてしまった場合には、ただちに学部管理者（教務課・学生課・その他、以下同様）又は総合学術情報センターに連絡してください。日本大学はメールアドレス及びパスワードの漏えい、不正使用などから生じた損害については保証いたしませんので注意してください。

⑤ メールアドレスのパスワード紛失について

学生（利用者）がパスワードを忘れた場合、パスワード発行依頼書に必要事項を記載し、学部管理者の指示に従ってください。

⑥ プライバシーの考え方

- (1) 学校法人日本大学は、個人情報の取扱いについて「日本大学における個人情報保護に関するガイドライン」(<http://www.nihon-u.ac.jp/site/policy.html>) を遵守します。
- (2) 本システムを業務上、円滑・安全に利用するために必要な利用者登録情報は下記の項目に限られています。下記の情報管理は総合学術情報センターで行います。

- ア 所属学部・学科
- イ 学生番号
- ウ 氏名
- エ 氏名フリガナ*
- オ 入学年
- カ 生年月日
- キ 学生証台帳番号（16桁）
- ク メールアカウント*

*印のみ、Google Apps Education Edition に登録、その他については本学内にあ
る NU-AppsG アカウント管理システムにて管理します。

また、メール内容について監視、編集、公開することは一切ありません。ただし、以下の場合には、日本大学の判断にて当該内容について開示等行う場合があります。

- ア 法律によって要求された場合
- イ 法律上の手続きに従う必要がある場合
- ウ 日本大学及び利用者の権利・財産を保護する必要がある場合
- エ 技術的問題の発見や解決が必要な場合
- オ 人の生命、身体及び財産等に差し迫った危険がある場合
- カ 上記の他、日本大学が必要と認めた場合

⑦ 学生（利用者）の責務

メール送信内容（情報、データ、文書、ソフトウェア、音楽、音、写真、画像、映像、ビデオ、伝言、文字など）は、たとえその内容が公知、周知のものであったとしても、又は学生（利用者）が個人的に取得したものであったとしても、その内容に関する権利は、それらを最初に作成した人（最初に作成した人から正当にその権利の譲渡や許諾を受けた人も含みます）に帰属するということを認識してください。学生（利用者）が、送付した内容に関して刑罰を受けたり、損害賠償請求をされたり、第三者から異議を申し立てられたりする可能性があるということを理解していただく必要があります。日本大学はメール内容及び当該内容を使用したことに起因する損害については責任を負いません。上記の責務を果たしていただくために、学生（利用者）の以下の行為を禁止します。

- (1) 法令に違反する内容、他人の権利を侵害する内容、他人に経済的・精神的損害を与える内容、脅迫的な内容、他人の名誉を毀損する内容、他人のプライバシーを侵害する内容、嫌がらせや他人をひぼう中傷する内容、猥褻・猥雑な内容、罵詈雑言に類する内容、嫌悪感を与える内容、民族的・人種の差別につながる内容等を送信（発行）すること。
- (2) 未成年者を害するような行為。
- (3) 自分以外の人物を名乗ったり、又は他の人物や組織と提携、協力関係にあると偽ったりすること。故意、過失に基づき誤認した場合も含みます。（たとえば、他の利用者などになりすまして行うような行為です。）
- (4) メール内容の発信元を隠したり、偽装したりするために、ヘッダーなどの部分に手を加えること。
- (5) 法律上、送信（発信）する権利を有していない内容を送信（発信）すること。
- (6) 第三者の知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権など）を侵害するような内容を送信（発信）すること。
- (7) ジャンクメール、スパムメール、チェーンレター、その他勧誘を目的とする内容を送信（発信）すること。
- (8) コンピュータのソフトウェア、ハードウェア、通信機器の機能を妨害、破壊、制限するようにデザインされたコンピュータウィルス、コンピュータコード、ファイル、プログラムを含む内容を送信（発信）すること。
- (9) サービス又はサービスに接続しているサーバもしくはネットワークを妨害したり、混乱させ

たりすること、あるいはサービスに接続しているネットワークの使用条件、操作手順、諸規約、規定に従わないこと。

(10) 故意、過失を問わず法令に違背する行為。

(11) 第三者に対する嫌がらせを行うこと。

(12) その他公序良俗に反する行為。

日本大学は、事前に内容を検閲することはいたしません。しかし、上記の行為に対し、日本大学が必要と判断した場合には、本システムの利用停止及び内容の削除等ができるものとします。

法令に従って要請されたとき、または法律手続き上必要な場合、本規約を遵守していただくために必要な場合、第三者の権利を侵害している内容に対するクレームに対応するために必要な場合、日本大学又は利用者の財産、権利、生命身体・業務等の安全や公益を守るために必要な場合など、日本大学が必要であると判断したときは、日本大学は内容及び内容に係る情報を保存し、または開示することができるものとします。

学生（利用者）は内容を含むサービスの送信（発信）を受信する過程で、種々のネットワークを経由することがあることを理解し、接続しているネットワークや機器、機材によっては、それらに接続及び通過するために必要なデータ、信号等の変更がなされる可能性があることを理解したうえで、本システムを利用してください。

⑧ 国際的利用をする場合のご注意

インターネットは国境を越えて利用されるものであることを十分理解のうえ、利用者はオンライン上での行為やどのような内容のコンテンツが許されるかという点については、利用される国、地域における規制を遵守しなければなりません。とくに、居住されている国から技術的な情報を他国に向けて送信（発信）される場合には、利用者は技術輸出に関する諸法令を遵守することに同意するものとします。

⑨ サービスの利用に関する制約

日本大学は、必要に応じて利用者のサービスの利用に関する諸規定を作成し利用の制約をする（たとえば、一日に送受信できるメールの数量、日本大学が学生（利用者）のために割り当てるディスク容量、アクセス時間などについて規定することなど）権利を保有しています。

日本大学は、学生（利用者）のメールの通信内容について一切責任を負いません。また、日本大学が必要と判断した場合には、学生（利用者）に通知することなくいつでも本システムの利用に関する諸規定を改定することができるものとします。

⑩ サービス内容の変更等

日本大学が必要と判断した場合には、学生（利用者）に通知することなくいつでも本システムの内容を変更できるものとします。また、日本大学が本システムの停止又は中止する場合は、事前に学生（利用者）に対して通知いたします。いずれの際も日本大学は一切責任を負わないものとします。

⑪ 通知または連絡

学生（利用者）の方が、日本大学に対し通知または連絡が必要であると判断した場合には、学部管理者の窓口を用いて連絡を行うものとします。

2 Google Apps Education Edition の利用規約

NU-AppsG は下記の Google 社の規約等に準拠します。

① Google の利用規約

(<http://www.google.com/a/help/intl/ja/users/terms.html>)

② Google のプライバシーの取り扱いについて

(<http://www.google.com/a/help/intl/ja/users/privacy.html>)

③ Google プログラム ポリシー

(http://www.google.com/a/help/intl/ja/users/program_policies.html)

以 上